

心臓サルコイドーシス外来 のお知らせ

心臓サルコイドーシスは軽い病気ではありません

サルコイドーシスは原因不明の全身性肉芽腫性疾患であり、我が国では、欧米に比べ心臓病変をもつ人（心臓サルコイドーシス）の頻度が高いと言われています。近年、心臓サルコイドーシスは診断技術の進歩とともに、見つかるケースが増えています。この心臓サルコイドーシスは、他の心疾患よりも致死性かつ難治性の不整脈や重症心不全をきたしやすく、突然死の原因となるため、適切な診断・治療が重要であり、心臓病変の進展抑制効果を目的とした副腎皮質ステロイドなどの免疫抑制療法に加え、様々な薬物・非薬物治療が必要となります。

【国循には心臓サルコイドーシスの専門家が居ます】

実際は、心臓サルコイドーシスの診断や治療は必ずしも容易ではなく、また特定疾患いわゆる難病に指定されており、たくさんの患者さんを診る専門施設での診断・治療が必要となる疾患です。国立循環器病研究センターでは、古くから多数の心臓サルコイドーシスの患者さんの診療を不整脈科と心不全科で相談しながら行っており、ガイドラインを含む、最新の情報発信を行って参りました。心臓サルコイドーシスが疑われる患者さま、治療方針にお困りの患者さまなど、積極的に当院の「心臓サルコイドーシス外来」に受診・紹介をご検討頂ければと思います。セカンドオピニオン（オンラインも含む）も行っておりますので、遠方でもお気軽にご紹介頂ければ幸いです。

どんな
患者さんを
紹介したら
良い？

患者さんをご紹介
いただく場合

【ご紹介いただく場合】

センターHP→病院→医療関係者の皆さまへ→患者さんを紹介いただく手順について→Excelファイル「心臓サルコイドーシス外来 診療希望」とご記入のうえ、専門医療連携室（06-6170-1348）へFAXでご送信ください。24時間送信可能です。セカンドオピニオン外来（オンラインも可）も行っています。

私たちが診療に当たらせて
いただきます

【診療担当医師】

草野 研吾 [火・木]

（日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会理事）

泉 知里 [火・木]

北井 豪 [金(隔週)] / 神崎 秀明 [金(隔週)]

天木 誠 [水] / 天野 雅史 [月]



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号
TEL 0570-012-545(ナビダイヤル)
<http://www.ncvc.go.jp>

受付・お問い合わせ
平日 9:00~16:00

国立循環器病研究センター 専門医療連携室
TEL. 06-6170-1361 (直通)